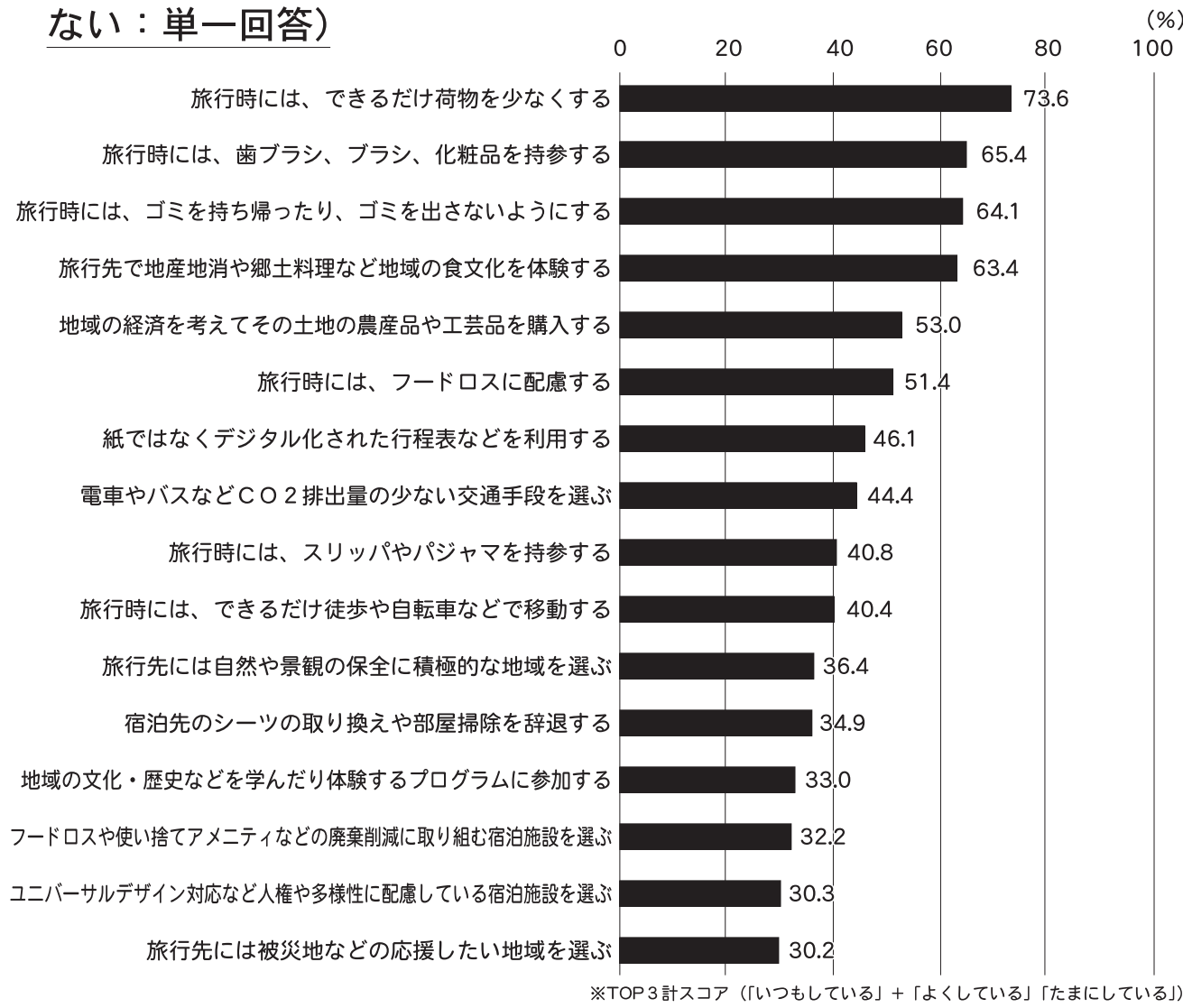


旅行購入時にも影響

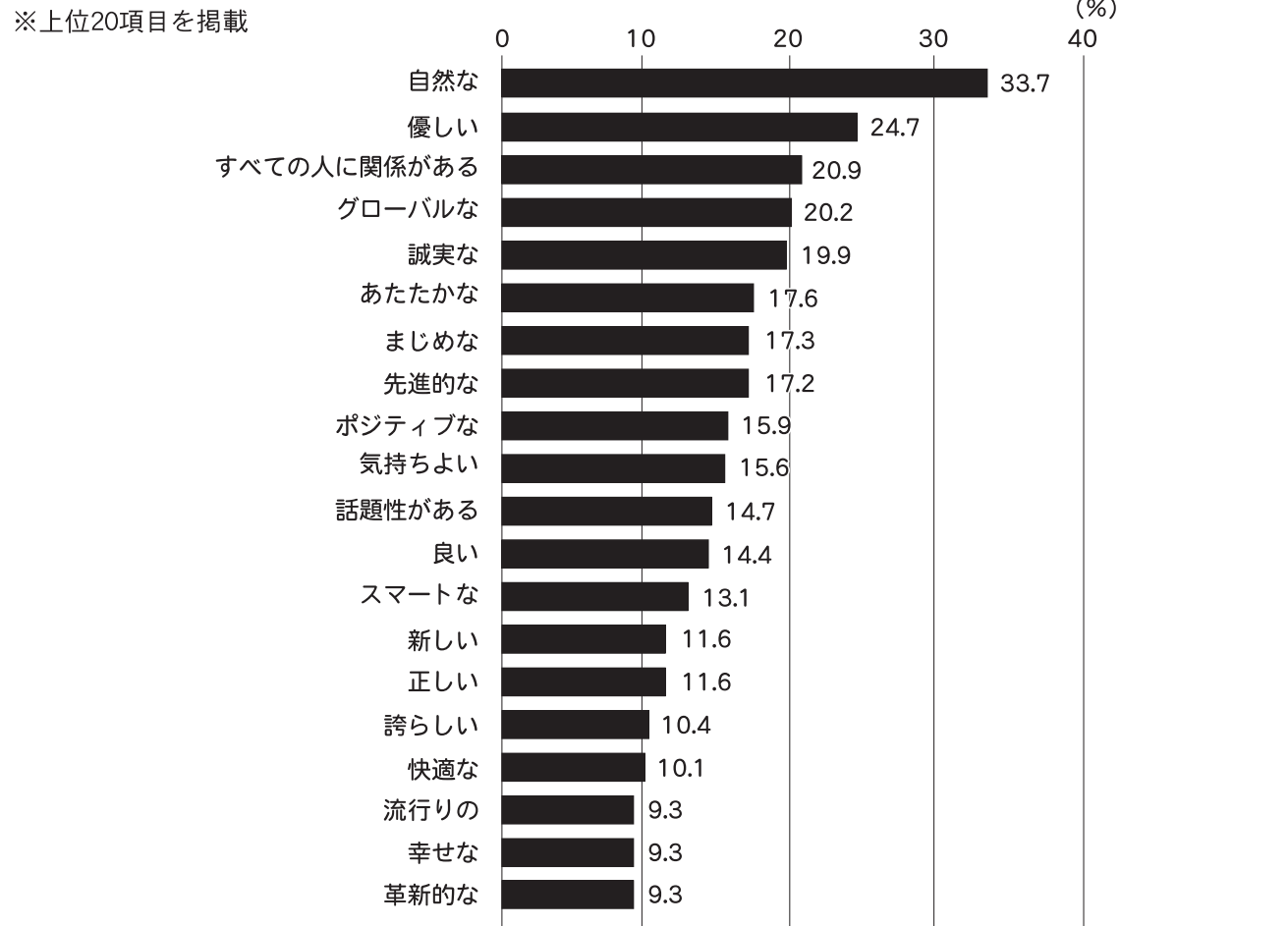
博報堂「生活者のサステナブル購買行動調査2023」 調査結果

Q. 普段、あなたが旅行商品（ツアー、ホテル・旅館、航空券、鉄道きっぷなど）を購入する際、以下のようなことを意識して買物をしていますか。（選択肢：いつもしている、よくしている、たまにしている、あまりしていない、ほとんどしていない、まったくしていない：単一回答）

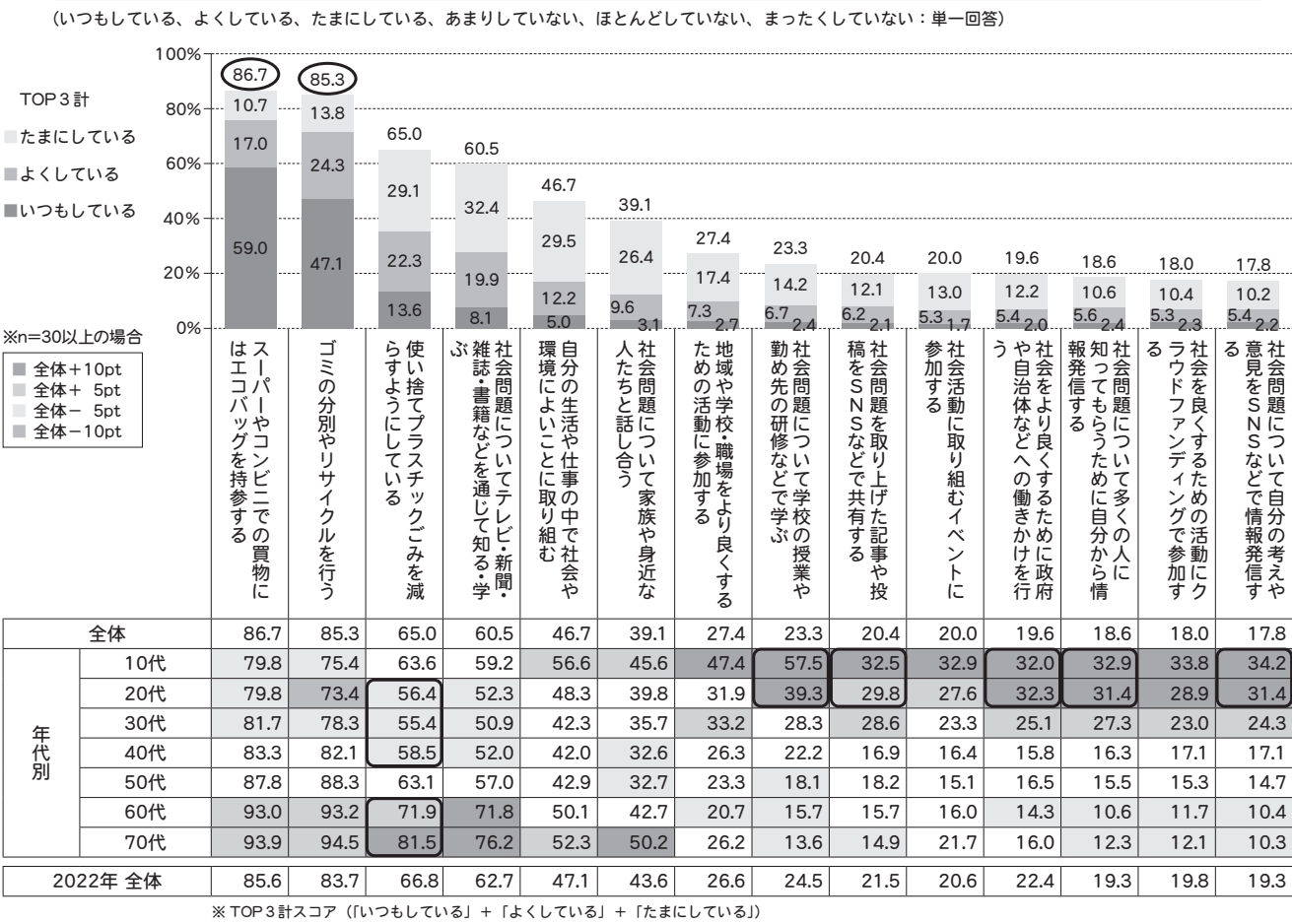


※TOP3計スコア（「いつもしている」＋「よくしている」＋「たまにしている」）

Q. あなたは「サステナブルな商品」について、どのようなイメージをお持ちですか。（複数回答）



Q. あなたは普段の生活の中で、以下のような行動をどの程度していますか。それぞれ、あなたの行動に最も近いものをお答えください。



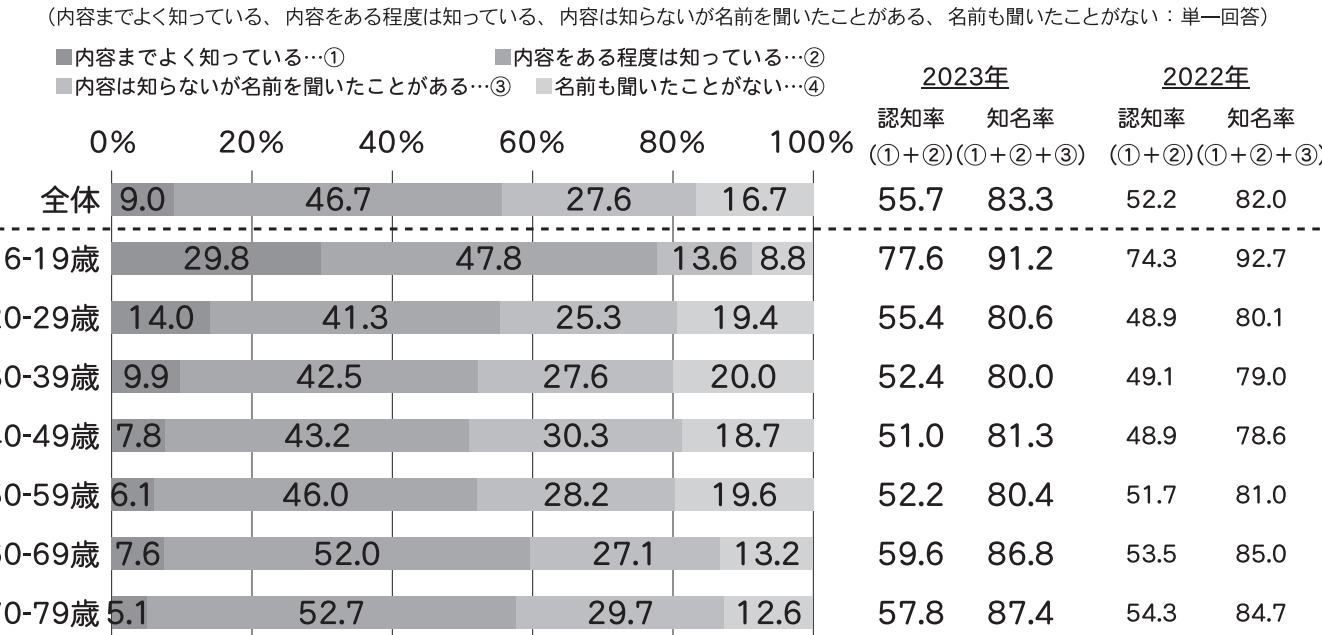
※TOP3計スコア（「いつもしている」＋「よくしている」＋「たまにしている」）

博報堂は8月25日、同社が実施する「博報堂SDGsプロジェクト」で実施した「生活者のサステナブル購買行動調査2023」の調査結果を公表した。旅行商品購入時に意識することについては、73・6％が「旅行時には、できるだけ荷物を少なくする」と回答した。アメニティの持参など全16項目中7項目で半数以上の人が意識していると答えるなど、旅行でもサステナビリティへの意識の高まりが見られる結果となった。

同調査は2019年から行っているもので、今年で4回目。2月27、28日にインターネットで実施し、直近2〜3カ月に食品、飲料、日用品、衣料品などを購入した、全国の16〜79歳の男女5156人から回答を得た。SDGsの認知について、19年調査では認知率が8・9％、知名度が26・8％だったものが、今年調査では認知率54・0％、知名度81・9％に大きく上昇しているものの、22年からの伸びは年次別で傾向が異なる。純化、これについて同社は「企業や政府・自治体は、企業や政府・自治体の取り組みや情報発信、20代はリユースやシェアといった購買行動が高ポイントとなったが、同じく意識の高い70代では「悪い影響を与えるものは買わない」「環境や社会のためになるものを買う」などが高ポイントとなった。30〜40代のミドル層はこれまでの調査同様購買意識が低かった。旅行に関する「普段、あなたが旅行商品（ツアー、ホテル・旅館、航空券、鉄道きっぷなど）を購入する際、以下のようなことを意識して買物をしていますか」の問いでは、荷物のコンパクト化に続き、「旅行時には、歯ブラシ、ブラシ、化粧品を持参する」が65・4％、「旅行時には、ゴミを持ち帰ったり、ゴミを出さないようにしたりする」が64・1％で続いた。地域食文化体験や地元産品の購入など、地元文化や経済の持続性を意識する人も半数を超えた。宿泊施設選定にサステナビリティを意識する人は3割ほどだった。

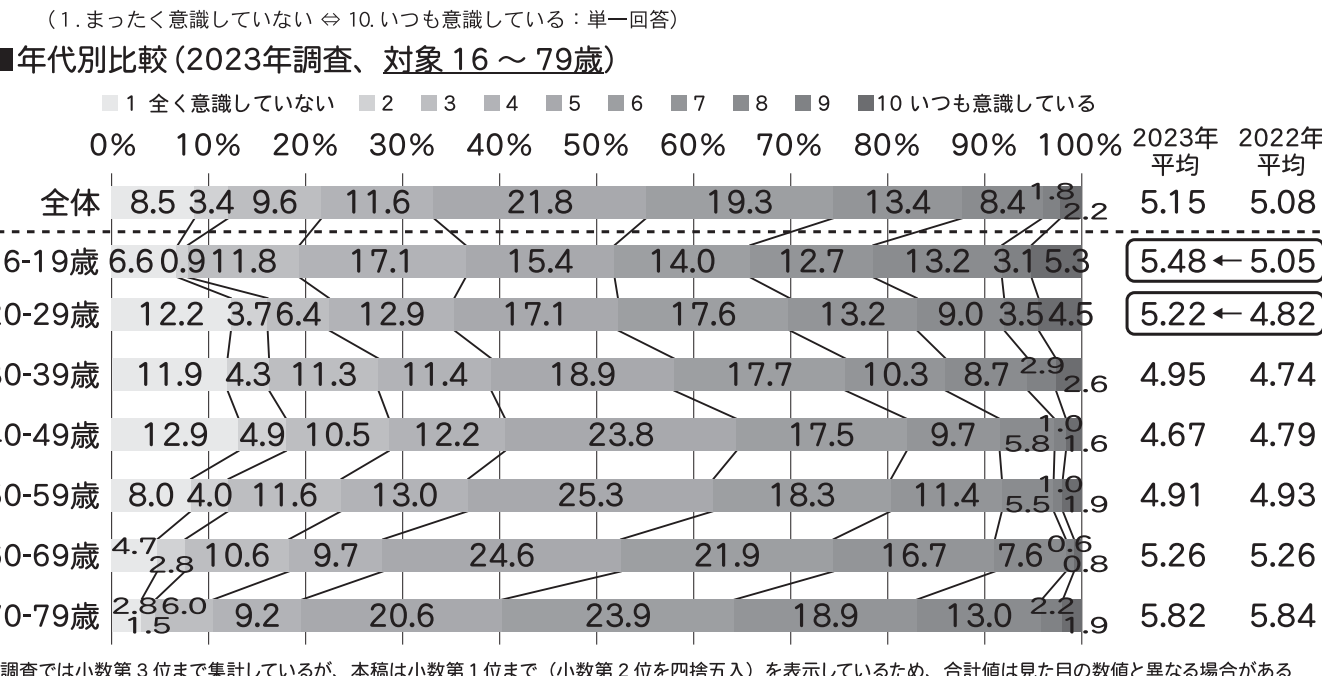
若年層・シニア層とミドル層で意識に差

Q. 「SDGs（エス・ディー・ジーズ／持続可能な開発目標）」について、あなたはどの程度ご存知ですか。



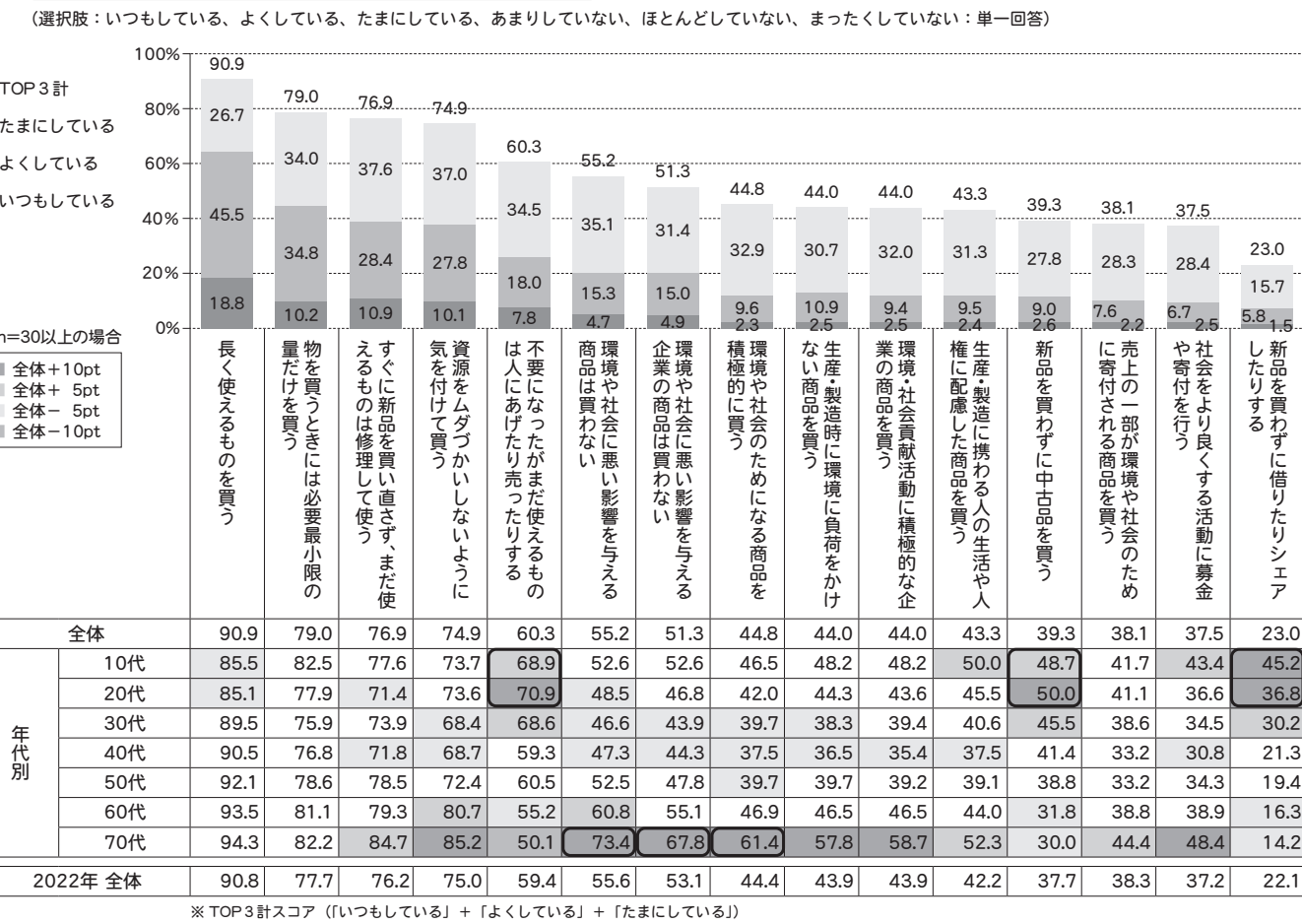
※調査では小数第3位まで集計しているが、本稿は小数第1位まで（小数第2位を四捨五入）を表示しているため、合計値は見た目の数値と異なる場合がある

Q. 普段あなたが買物をする際、その商品が環境や社会に与える影響をどの程度意識していますか。



※調査では小数第3位まで集計しているが、本稿は小数第1位まで（小数第2位を四捨五入）を表示しているため、合計値は見た目の数値と異なる場合がある

Q. 普段、あなたが買物をする際、以下のようなことをどの程度意識して買物をしていますか。



※TOP3計スコア（「いつもしている」＋「よくしている」＋「たまにしている」）